

愛知県大学対抗ハッカソン “Hack Aichi 2020” 受賞結果

最優秀賞	関西学院大学
優秀賞	豊橋技術科学大学、名城大学
特別賞	名古屋工業大学
企業賞	愛知県立大学、静岡大学、岐阜大学

【最優秀賞：関西学院大学】

開発課題：「自宅でもファッションを楽しめるようになること」

自分の服装をスコア化し、いろいろな服に着替えてスコアを見たくなるようなアプリケーション。全身撮影した約1万枚の画像データを分析し、スコアとして数値化することで、類似あるいはより高いスコアな服の検索・提示も行いうることができる。



【優秀賞：豊橋技術科学大学】

開発課題：「自宅でもファッションを楽しめるようになること」

自宅でもファッションを楽しめることを目指した、AIを使ったファッションの見える化アプリケーション。ファッションの季節感やトレンド感を分析・評価できるほか、顔の特徴を抽出し、似ている顔の優れたコーディネート提案、他ユーザーによるコメントが得られるネットワーク機能も搭載する。



【優秀賞：名城大学】

開発課題：「三密を避けたリモートワークで失われた FACE TO FACE コミュニケーションを AI/IoT を使って復活せよ」

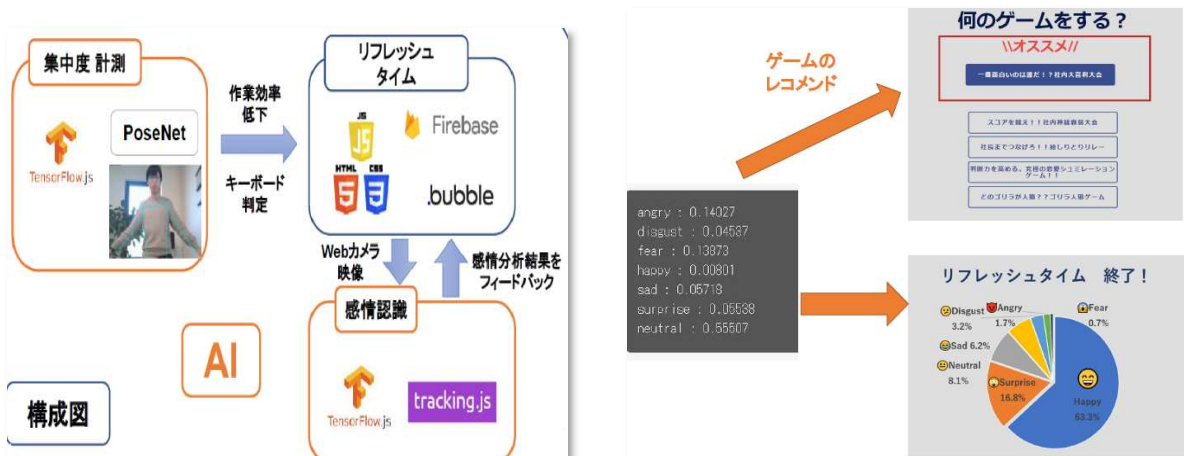
“ドリンクを飲む”を会話のきっかけにするスマートコースター。マグカップを持ち上げるとセンサーが重量変化を認識し、デバイス上で自動、ランダムにビデオ通話が繋がる。ドリンクを飲むという動作をきっかけに、リモートワーク増加による「雑談」の減少を解決し、心理的安心感と「業務効率化・生産性向上」を達成することを目指す。



【特別賞：名古屋工業大学】

開発課題：「三密を避けたリモートワークで失われた FACE TO FACE コミュニケーションを AI/IoT を使って復活せよ」

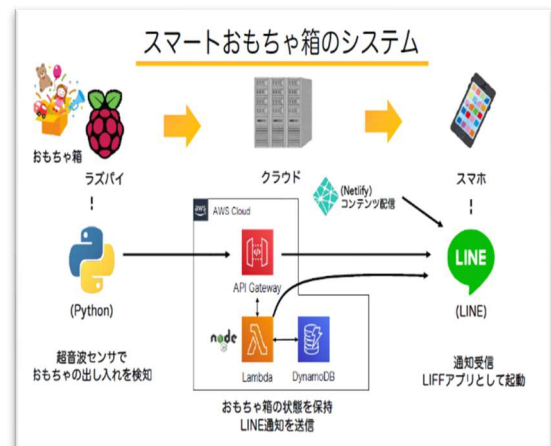
AI が集中力を測定しリフレッシュを促すソフトウェア。姿勢推定やキーボードの誤入力、バックスペースの使用率を検出し、気分転換のためにビデオ通話やゲームを提案する。また、Web カメラを用いた表情による感情分析で違うゲームを提案する。



【企業賞（CKD賞）：愛知県立大学】

開発課題：「在宅勤務って難しい？ ～お母さんお父さんを助けよう～」

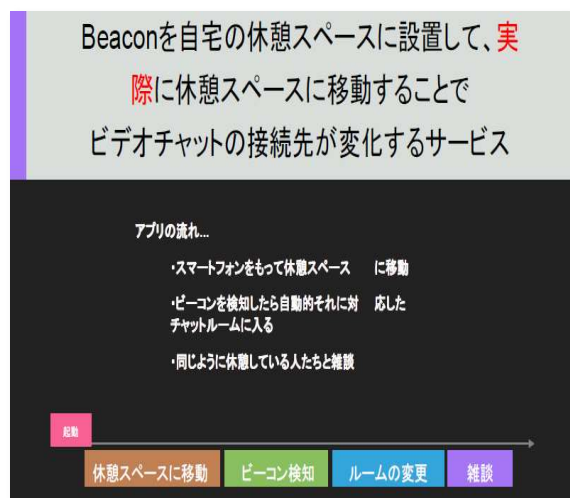
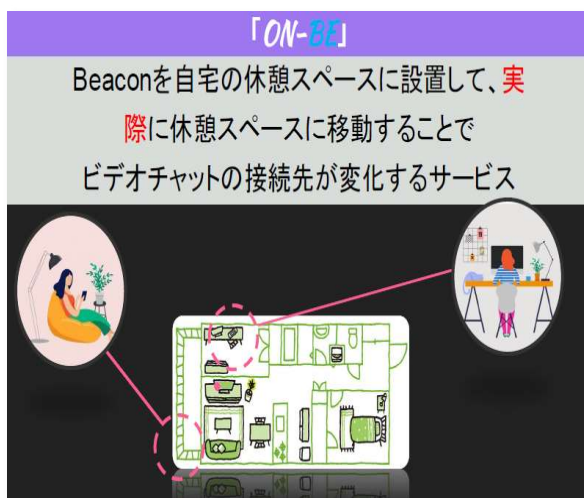
Raspberry Pi と超音波センサーを搭載したスマートおもちゃ箱。複数のおもちゃ箱があってもセンサーとの検知距離によりどの箱に入れたのかが分かる。子どもがスマートおもちゃ箱におもちゃを片付けた状況をクラウドで収集し、親がスマートフォンの通知で確認することができる。



【企業賞（日本ガイシ賞）：静岡大学】

開発課題：「三密を避けたリモートワークで失われたFACE TO FACE コミュニケーションをAI/IoTを使って復活せよ」

オンライン雑談を実現する在宅休憩スペースモデルであり、自宅の休憩スペースにBeaconを設置。スマートフォンを持って入室するとBeaconを検知し、自動的に同じように休憩中の他ユーザーとビデオチャットが繋がる。休憩というタイミングでの気軽な雑談を通して人と繋がれるサービスを目指す。



【企業賞（マキタ賞）：岐阜大学】

開発課題：世界中の設備を「愛知県」から保守管理したい

機械故障の予知・保全のための後付け式小型 IoT デバイス。熱、振動センサーと通信モジュールを搭載しており、各センサーの値と収集した過去のデータを AI が分析し、故障時期の予測を行う。磁石で機械に取り付けるだけという手軽なデバイスで、世界の工場機器を管理する。

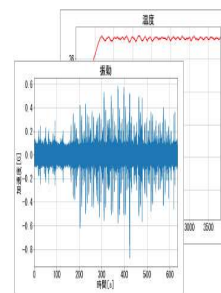
熱・振動センサ
通信モジュールを搭載



現地に送って、磁石で装着



愛知から



AIで故障時期を予測